当院における抜管失敗の因子の抽出および WIPO を意識した個別化 SBT の可能性

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

重症患者さんにとって人工呼吸管理は必須の管理方法である一方、人工呼吸器からの離脱も重要な治療のステップとなっております。人工呼吸器からの離脱が失敗し、再度挿管人工呼吸器管理が必要になる場合には、死亡率の上昇などの合併症が増えるとされます。人工呼吸器からの離脱を安全にできるか評価する方法として自発呼吸トライアル（Spontaneous Breathing Trial、以下 SBT）があり、ガイドラインにおいても施行することが推奨されております。しかし、確立した SBT の方法はありません。当院における人工呼吸器からの離脱のリスク因子を抽出し、患者さんの状態に併せた SBT を行うことで再挿管が減らせるかどうかを評価します。
診療を通じて記録された情報のみを使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに人工呼吸管理を受けた方

使用する試料・情報

年齢、性別、入院契機、挿管時のバイタルサイン、再挿管（抜管後 72 時間以内の再挿管）となったかどうか、人工呼吸期間中の合併症の有無（人工呼吸器関連肺炎）、既往歴（高血圧、糖尿病、心不全、CKD、脳卒中、肥満、慢性肺疾患）や、抜管時の全身状態についての情報。
使用開始予定日：2026 年 10 月 16 日

研究予定期間

2026 年 10 月 16 日～2027 年 5 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。
［研究情報管理責任者］**救急科**　　中村悠太
［個人情報管理責任者］院長　　中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先	済生会熊本病院　救急科　中村悠太 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号　電話：096-351-8000（代表）